



岸 高明の議会だより

事務所 茅ヶ崎市新栄町7-1 岸ビル6F
自宅 茅ヶ崎市本村4-10-8

Tel 0467-89-3807
Fax 0467-89-3806

<http://www.takaaki-kishi.com/> mail: t-k@takaaki-kishi.com



市議会議員として 三期目をスタート

4月に統一選挙があり三期目の当選をさせて頂きました。新旧の議員の入れ替わりがあり、先輩議員も少なく私たち三期生が議会をリードする立場になっています。

地方分権の進展と共に、市民に開かれた議会、より専門性の高い議会などが求められています。議会改革として茅ヶ崎市議会の議会基本条例が4月から施行されています。

私たちが会長を務める議会内会派茅ヶ崎クラブにおいては3人の議員全員が再選され、新たに新人議員一名が加わり強力な布陣とする事が出来ました。

私は、引き続き議会内会派茅ヶ崎クラブの会長として、都市建設常任委員会委員長として、そして、都市計画審議会委員としてみなさまの期待に応えられるように頑張りますので応援よろしくお願い致します。



6月議会から

東日本大震災後、市長選と市議会議員の選挙が実施され市議会議員議員の顔ぶれや会派構成も変わった実質的に初の論戦が行なわれた6月議会が開催されました。震災後初の議会のため防災に関し活発に議論が交わされました。柳島にある県のキャンプ場を本市のキャンプ場として開設するための整備費用一億円の補正予算などの議事が審議されました。



岸高明の一般質問から

- 東日本大震災と選挙後の市長の考え ～ 現在執行中の平成23年度予算は、東日本大震災が発生する前に、予算化されたもの。今回の市長選挙を経ての施政運営。
- 建物耐震化向上 ～ 東日本大震災では、津波被害が甚大で、建物の耐震性に関心が向かない恐れからの耐震改修率向上策。
- 夏の節電対策 ～ 計画停電と節電対策での行政や学校が就業時間や授業時間、就業日や授業時間を変更について。



本会議場

柳島海岸にある県の相模川左岸下水最終処分場の放射能を帯びた焼却灰の管理状況を確認しました。敷地外に放射能による危険がある状態ではありませんが、処分方法が決まっています。



津波被害から復興した 奥尻島を視察

1993年7月12日午後10時17分、マグニチュード7.8の大津波に襲われ、壊滅的な被害を受けた奥尻島を視察しました。視察日が7月12日の津波を受けた日と重なり、右下の北海道新聞の記事となりました。写真左の人物が説明をして頂いた奥尻町の議長です。議長のお宅も流されたとの事。隣で説明を聴き入っているのが私です。

東北大震災での津波での出来事があまりに印象が深く、そこから津波防災を考えてしまいます。東日本大震災では、日中で地震発生後30分ほど経過後津波に襲われました。しかし、奥尻島では、地震発生は夜間です。停電の真っ暗間に津波に襲われました。地震による建築物の倒壊、津波、火災。過去の災害を踏まえての対策は大事ですが、客観的なデータに基づき、時間や天候など条件を変えてのシミュレーションを行なった結果を防災計画に反映しなければなりません。

18年前に津波に襲われた奥尻島は、現在、復興を果たしています。そして、津波避難経路など津波対策がまちづくり、施設に活かされています。

茅ヶ崎市を襲った直近の大地震というと、大正12年9月1日の関東大震災です。震災時の状況を記録するために、震災後に聞き取り調査した資料があります。津波がくると逃げたとの話は目にしています。しかし、茅ヶ崎市が大きな津波に襲われ大きな被害があったとは聞いていません。船が川の上流に流されたとか、道が水に浸かったという話を聞いたとは聞きますが。

茅ヶ崎市に次来る地震が、海溝型なのか直下型なのか、津波が発生するのかは分かりませ

ん。本市の都市構造自体も関東大震災当時と大きく変わっています。

茅ヶ崎市においては、東北大震災を受けて、直ぐ可能な震災対策は行なっていますが、例えば、街角に据えられた防災用の放送設備ですが、聞こえない、地震発生での故障の可能性やバックアップ電源が長時間持たないなど改善すべき点があります。他の通信手段も検討してゆかなければなりません。

長期的抜本的には、今後の県のシミュレーション結果によっては、津波避難所となる学校の高さの見直しが必要かもしれません。

想定なくして防災対策はありえません。現在の科学や資金の事もあります。冷静に客観的に効果的な対策を行いたいと思います。



北海道新聞の平成23年7月12日の記事